**平成30年度第２回大阪府がん対策推進委員会**

**がん検診部会（概要）**

# １．日　時：平成31年２月25日（木）18時～

# ２．場　所：大阪がん循環器病予防センター　６階　研修室

# ３．議　事：

# (1) 第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理につ

# いて

# （2）がん検診受診率向上等に関する取組みについて

# （3）その他

４．委員からの意見要旨と審議結果

（１）第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理につ

いて【資料１～4・参考資料１～5】

【意見要旨】

○予定した取り組みが実施できたかどうかで計画のPDCA進捗管理表の各項目を

　評価しているが、目標値ががん検診受診率などの指標であるため、受診率等で

評価すべきである。

○計画初年度の今年度は、指標での評価が難しいのは了解したが、今後は「実施できたか」に加えて、指標での評価も加えてほしい。

○がん検診受診率向上の取組みの中で、大阪版健康マイレージ事業「アスマイル」は府民にダイレクトに受診を促す事業であり、アプリに登録された情報等を得ることができるが、多くの情報を得るには周知が非常に重要となってくる。アプリをダウンロードして、登録までで活用には至らないのではないか。コストとベネフィットについての評価は重要。

○市町村の受診率が上がっている、下がっているについては誤差の範囲なのか、

　それとも何か取組みが寄与しているのかを検討する必要がある。受診率向上に寄与している取組みをつきとめて、広めることが重要である。

○各事業の評価検証・進捗管理は、過去の事例のデータを積み上げて、将来どの

程度効果があるかを予測・確認しながらすべきであるが、過去の事例等は分析

しているのか。

→精度管理システムにて蓄積した市町村のがん検診データについて、『大阪府におけるがん検診』等で分析を行っている。

○たばこ対策の取組みの中に、現在検討中の受動喫煙防止対策の条例や「大阪府

子どもの受動喫煙防止条例」がある。条例制定は事業費もかからず、取組みと

して良いと思う。

【審議結果】

資料３のとおりアクションプランを策定することで承認。

（２）がん検診受診率向上等に関する取組みについて【資料５】

【意見要旨】

　○新規事業よりもクーポン事業など効果の確立された事業の復活を図るべきでは

ないか。

 →国のクーポン事業に対する補助金の縮小など、予算確保が難しい現状で、

　　　市町村においてモデル事業を実施し、効果検証することで、今後市町村が取

組むことで受診率向上の効果がある事業を検討していきたい。

○万博のテーマが「いのち輝く未来社会」であることから、開催地の大阪でがん

検診受診率を向上する必要があることをアピールし、予算がない中でできる新

規事業の模索も大事だが、予算を確保することにも力を入れるべき。

○各事業で客観的データに基づいた効果検証を行い、事業の有効性を示せる

ようにすべき。

○各事業の費用対効果についても、検討すべき。

（３）その他【参考資料６】

　平成30年度第１回がん検診部会にて、内容更新の承認を得た検診実施機関向け大腸がん検診ガイドブックについて報告を行った。更新後のガイドブックは、市町村から委託先の検診実施機関に配布するよう依頼している。